

3—2. デジタル経営学科 教育課程

① 教育目標

急速な進化を続ける情報化社会においては、広い視野を持ち、常に新しいことにチャレンジするビジネスリーダーが求められています。本学科では、大学と専門学校のダブルスクール制を採用し、4年間で「学士（商学）」と「高度専門士」の称号を同時に取得します。大学では一般教養や専門知識を深め、専門学校では技術力、実践力、資格を習得し、即戦力となる人材を育成します。

授業には第一線で活躍する経営者や企業のプロフェッショナルを講師として招き、実務に直結した知識や技術のレクチャーを受けます。簿記やMOSなどの資格取得を通じてビジネスの基盤を築き、それにITやデータ活用スキルを加えることで、企業のDX化を推進できる人材を目指します。

また、企業や自治体との連携授業や共同研究に参加することで、実社会に密接に関わり選択肢を広げることができます。インターンシップを通じて、実際の職場での経験を積み、社会人としての考え方や行動を学ぶとともに、就職活動にも生かします。

さらに、1年次からの継続的な英語学習や、4年次の語学研修を通じて、グローバルな舞台で活躍するための力を養います。

将来、デジタル経営学科で学ばれたみなさんが、習得した知識や技術を存分に生かし、企業人としてさまざまな分野で活躍することを期待しています。

【1年次】

経営学（法学、マーケティング、簿記）の基礎を習得し、日商簿記検定3級の合格を目指します。

2年次以降の学習に備え、英語と数学を学びます。帝京平成大学の科目として社会学や心理学などの一般教養科目を履修し、社会人としての見識を広げます。さらに、企業人を講師に招き、地域課題に即した演習を実施します。

【2年次】

1年次に学んだ知識・技術を基に、経済学、統計学、憲法を学びます。日商簿記検定2級の合格を目指し、ITパスポート試験にも取り組みます。英語力をさらに向上させ、TOEIC試験に挑戦します。さらに、企業との連携を通じて実践的なビジネススキルを磨き、ビジネスプランコンテストにも参加します。

【3年次】

企業でのインターンシップを通じて、業務の流れや職場のマナーを実体験します。マルチメディアを活用して情報発信の方法を学び、演習で作成したコンテンツを発信します。ファイナンシャル・プランニング3級の合格を目指し、資産運用やライフプランニングの知識を深めます。2年次のTOEICの結果を上回る得点を目指し、英語力の向上を図ります。

【4年次】

これまでの3年間で学んだ知識・技術や、2・3年次に行った演習の成果を集約し、さらに発展させます。卒業研究では、地域課題の解決に取り組み、卒業後の進路に結びつく研究を行います。海外研修を通じてグローバルな視点を養い、国際的に活躍できる人材を目指します。

② 取得目標資格

資格名・級	主催	受験時期
【1年次】		
Microsoft Office Specialist Word 365 Expert	Microsoft	7月
Microsoft Office Specialist Excel 365 Expert	Microsoft	10月
日商簿記検定試験3級	日本商工会議所	10月
【2年次】		
ITパスポート	経済産業省	7月
日商簿記検定試験2級	日本商工会議所	10月
TOEIC	教育試験サービス	1月
【3年次】		
TOEIC	教育試験サービス	5月
FP技能検定3級	日本FP協会	7月
情報セキュリティマネジメント試験	経済産業省	12月
【4年次】		
データサイエンティスト検定	データサイエンティスト協会	11月

③ 目標とする職業

総合職、一般事務、営業、企画、経営企画、マーケター、データアナリスト、データサイエンティスト、進学（大学院） 他

④ イベント・行事予定

実施時期	行事内容	場所
【全学年共通】		
5月	特別講演（外部講師）	本校ホール
11月	秋遠足	ディズニーランド
【1年次】		
9～10月	日商簿記検定試験3級対策授業	
【2年次】		
9～10月	日商簿記検定試験2級対策授業	
11～12月	TOEIC対策授業	
【3年次】		
8月	インターンシップ	研修先企業・オンライン
【4年次】		
12月	語学研修	未定
2月	卒業研究発表会	本校ホール

※記載されている行事の中止や変更、予定外の行事を追加で実施する場合があります。

別表1

教育課程及び授業日時数

デジタル経営学科

課 程		専 門 課 程				単 位 表 示			
		デ ジ タ ル 経 営 学 科							
学 科		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
科 目		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
一 般 科 目	1 コミュニケーション活動Ⅰ	60				2			
	2 コミュニケーション活動Ⅱ		60				2		
	3 コミュニケーション活動Ⅲ			60				2	
	4 コミュニケーション活動Ⅳ				60				2
	5 キャリア講座Ⅰ			30				2	
	6 キャリア講座Ⅱ			30				2	
	7 マナー講座Ⅰ	30				1			
	8 マナー講座Ⅱ		30				1		
	9 語学研修				60				2
	10 基礎英語	60				4			
	11 ビジネス英語Ⅰ	30				2			
	12 ビジネス英語Ⅱ		30				2		
	13 実用英語Ⅰ	30				2			
	14 実用英語Ⅱ		30				2		
	15 TOEIC対策Ⅰ		60				2		
	16 TOEIC対策Ⅱ			60				2	
	17 英会話				30				2
	18 コンピュータ演習Ⅰ	60				4			
	19 コンピュータ演習Ⅱ	60				4			
	20 心理学	30				2			
	21 人間関係論			30					2
	22 社会福祉総論	30				2			
	23 国際情報(経済)			60					4
	24 オフィススタディ			30					2
	25 世界史		60					4	
専 門 科 目	26 デザイン	30				2			
	27 基礎数学	60				4			
	28 データサイエンス・AI入門	30				2			
	29 データサイエンス				90				6
	30 情報セキュリティ基礎		30				2		
	31 情報セキュリティ演習			60				2	
	32 情報マネジメント演習			60				2	
	33 IT戦略		30				2		
	34 経営学	30				2			
	35 経済学入門	30				2			
	36 経済学		30				2		
	37 会計学			30				2	
	38 簿記	60				4			
	39 簿記演習Ⅰ	90				3			
	40 簿記演習Ⅱ		90				3		
	41 経営数学	60				4			
	42 日本国憲法		30					2	
	43 法学概論	30				2			
	44 民法・商法			30					2

別表1

教育課程及び授業日時数

デジタル経営学科

課 程		専 門 課 程				単 位 表 示			
学 科		デ ジ タ ル 経 営 学 科							
科 目		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
専 門 科 目	45 社 会 学	60				4			
	46 会 社 法		30				2		
	47 経 営 情 報 技 術		30				2		
	48 経 営 管 理 論			30				2	
	49 監 査 論			30				2	
	50 企 業 と 広 報		30				2		
	51 企 業 と O J T			60					4
	52 企 業 コンサルティング			30					2
	53 企 業 と 情 報 法 制			30					2
	54 マ ー ケ テ ィ ン グ	30				2			
	55 人 材 開 発			60					4
	56 統 計 学		30					2	
	57 企 画 概 論	30				2			
	58 企 画 演 習 I	30				1			
	59 企 画 演 習 II		90				3		
	60 企 画 演 習 III			90					3
	61 社 会 調 査				90				3
	62 経 営 企 画 演 習				90				3
	63 デ ー タ ベ ー ス		30				2		
	64 マ ル チ メ デ ィ ア			30					2
	65 マ ル チ メ デ ィ ア 演 習			30					1
	66 ビ ジ ネ ス I T 技 術	30				2			
	67 ハ ー ド ウ ェ ア 基 礎		60					4	
	68 コ ン ピ ュ ー タ ネットワーク論		30					2	
	69 情 報 シ ス テ ム		30					2	
	70 情 報 社 会 と 倫 理	30				2			
	71 情 報 社 会 と 職 業		60					4	
	72 情 報 と 施 策		30					2	
	73 メ デ ィ ア の 活 用			30					2
	74 社 会 保 障			30					2
	75 情 報 科 学 論	60				4			
	76 シ ス テ ム 監 査			30					2
	77 資 格 試 験 対 策 I		90				3		
78 資 格 試 験 対 策 II				90				3	
79 F P 対 策			90					3	
80 デ ジ タ ル マ ー ケ テ ィ ン グ				60				4	
81 マ ー ケ テ ィ ン グ リ サ ー チ				60				4	
82 消 費 者 行 動 論				60				4	
83 卒 業 研 究				240				8	
年 間 履 修 時 間 数		1,080	540	570	690	17	30	31	29
年 間 授 業 日 数		180	180	180	180				

教育課程及び授業日時数

デジタル経営学科

課程		専 門 課 程				単 位 表 示			
		デ ジ タ ル 経 営 学 科				第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年	第 4 学 年
学 科	目	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年	第 4 学 年				
教 育	84 教 育 原 理	30				2			
	85 教 職 概 論	30				2			
	86 発 達 と 教 育 の 心 理 学	30				2			
	87 教 育 制 度 論	30				2			
	88 教 育 課 程 論	30				2			
	89 メ デ ィ ア と 教 育	30				2			
	90 特 別 の 支 援 を 必 要 と す る こ と の 理 由		30				2		
	91 教 科 教 育 法 (商 業) I		30				2		
	92 教 科 教 育 法 (商 業) II		30				2		
	93 教 育 方 法 ・ 技 術 論		60				4		
職 科	94 生 徒 ・ 進 路 指 導 法		30				2		
	95 特 別 活 動 の 指 導 法		30				2		
	96 教 育 相 談		30				2		
	97 総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 指 導 法			30					2
	98 教 育 実 習 I			30					1
	99 教 育 実 習 II				30				2
	100 レ ク リ エ ー シ ョ ン 理 論	30				2			
	教 職 科 目 合 計	210	240	60	30	14	16	3	2

注1) 教育職員免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、専門科目・一般科目に加え教職科目の全科目を履修しなければならない。ただし、教職科目は卒業に必要な履修時間数に参入しない。

注2) 教育実習科目は、約2週間の実習を実施する。

授業科目等の概要

(デジタル経営学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			コミュニケーション活動Ⅰ	スポーツフェスティバルや遠足の他、企業見学や展示会見学など、通常の科目の学習を超えた範囲の様々な学習活動を行います。	1	60	2	○			○	○			
○			コミュニケーション活動Ⅱ	スポーツフェスティバルや遠足の他、企業見学や展示会見学など、通常の科目の学習を超えた範囲の様々な学習活動を行います。	2	60	2	○			○	○			
○			コミュニケーション活動Ⅲ	スポーツフェスティバルや遠足の他、企業見学や展示会見学など、通常の科目の学習を超えた範囲の様々な学習活動を行います。	3	60	2	○			○	○			
○			コミュニケーション活動Ⅳ	スポーツフェスティバルや遠足の他、企業見学や展示会見学など、通常の科目の学習を超えた範囲の様々な学習活動を行います。	4	60	2	○			○	○			
○			キャリア講座Ⅰ	就職に向けたキャリア形成を学ぶ場を提供します。	3	30	2	○			○	○			
○			キャリア講座Ⅱ	就職に向けたキャリア形成を学ぶ場を提供します。	3	30	2	○			○	○			
○			マナー講座Ⅰ	社会人として必要となるマナーを身に付けます。	1	30	1	○			○	○			
○			マナー講座Ⅱ	社会人として必要となるマナーを身に付けます。	2	30	1	○			○	○			
○			語学研修	語学研修や見学を通し、コミュニケーションや各国の文化、社会事情を学びます。	4	60	2	○			○	○			
○			基礎英語	英語力を総合的に向上させることを目標とする。語彙の増強、読解力の強化、英語の音声に慣れ親しむことなどを旨とする授業を行います。	1	60	4	○			○		○		
○			ビジネス英語Ⅰ	ビジネスシーンで必要となる英語力を身に付けることを目指す。企業間のビジネスを目的としたコミュニケーションに必要な基礎を学びます。	1	30	2	○			○		○		
○			ビジネス英語Ⅱ	メールや電話で必要となる英語力を身に付けることを目指す。英語圏の企業とインターネットを介してコミュニケーションが図れるスキルを身に付けることを目指します。	2	30	2	○			○		○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			実用英語Ⅰ	身近な英語の理解と表現を身に付ける。読む・聞く・話す・書くを中心に実用的な英語の表現方法を身に付けることを目指します。	1	30	2	○			○				
○			実用英語Ⅱ	日常生活に必要な英語の理解と表現を身に付ける。読む・聞く・話す・書くを中心に実用的な英語の表現方法を身に付けることを目指します。	2	30	2	○			○				
○			TOEIC対策Ⅰ	TOEIC試験380点以上を目指す演習を実施します。	2	60	2		○		○				
○			TOEIC対策Ⅱ	TOEIC試験500点以上を目指す演習を実施します。	3	60	2		○		○				
○			英会話	語学力の向上、現地におけるコミュニケーションの基礎を学びます。	4	30	2	○			○				
○			コンピュータ演習Ⅰ	Windowsの基礎知識、Microsoft Office Wordの基本操作を習得する。Wordの操作及び演習を通してアプリケーションの理解を深める。高度なビジネス文書作成ができるようになります。	1	60	4	○			○				
○			コンピュータ演習Ⅱ	Microsoft OfficeのExcelとPowerPointの基礎を習得する。演習を通して、それぞれのアプリケーションの理解を深める。関数を使った表作成、視覚的なプレゼンテーション資料を作成できるようになります。	1	60	4	○			○				
○			心理学	心理学の基礎理論を学びます。自分自身の心理や日常の様々な現象を心理学の理論を通して捉えること、社会を見る時に活かせるような視点を持つことを目標とします。	1	30	2	○			○				
○			人間関係論	人間関係の社会心理学的知識を獲得するだけでなく、今を生きる学生が、よりよい人間関係を築き、社会に適応する力をつけ、自分や自分の人間関係を課題にそって見つめ直すことができることを目標とします。	3	30	2	○			○				
○			社会福祉総論	人間の生活の遵守、幸福追求を目的とした法、施策を理解するとともに、自身、家族にとどまらず、国民全体の生活を社会福祉の観点から、どのように形成すべきかという積極的視点を育成することを目標とします。	1	30	2	○			○				
○			国際情報（経済）	国際社会において、日本がいまどのような位置にあって、いかなる役割を果たすべきかを認識し、日本のあり方について考えます。そして、将来に亘って活躍する視野の広い人材を育成することを目標とします。	3	60	4	○			○				
○			オフィススタディ	仕事をするための足場である「オフィス」での円滑な進め方への心構えと、実際的な方策を身に付けることを目標とします。	3	30	2	○			○				
○			世界史	「大航海時代」の基本的な史実や流れを把握し、歴史的意義が理解できるようにします。	2	60	4	○			○				

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			デザイン	デザインをするうえでのセンスを強化する。理論の理解を目指し、デザイン力の出発点に立つことを目標とします。	1	30	2	○			○				
○			基礎数学	統計学や分析に求められる基礎的な数学を学びます。	1	60	4	○			○		○		
○			データサイエンス・AI入門	データを客観的に概観する手法を学ぶ。また、AIを利用する方法を学び活用する手法を身に付けます。	1	30	2	○			○		○		
○			データサイエンス	データを分析・活用できるツールの使い方やコミュニケーションに利用するための表現方法を学びます。	4	90	6	○			○		○		
○			情報セキュリティ基礎	情報セキュリティの基礎的な内容を学びます。	2	30	2	○			○		○		
○			情報セキュリティ演習	事例を通して情報セキュリティ対策の演習を行います。	3	60	2		○		○		○		
○			情報マネジメント演習	実例を参考にして情報技術を活用するためのマネジメント演習を行います。	3	60	2		○		○		○		
○			IT戦略	システム戦略、経営戦略、企業と法務について基本事項を学びます。	2	30	2	○			○		○		
○			経営学	経営に関する基礎的な知識と理論を説明し、企業がどう行動しているか経営の仕組みを総合的に学び、理解することを目標とします。	1	30	2	○			○		○		
○			経済学入門	ミクロ経済学とマクロ経済学に関する基礎的な知識を身に付けることを目標とします。	1	30	2	○			○		○		
○			経済学	日常生活で使用する製品がどのような流れを経て我々の手元に届くのかを理解するための基礎力を養うことを目標とします。	2	30	2	○			○		○		
○			会計学	企業が公表する財務諸表を理解し、有効に利用できる知識の修得を目指します。	3	30	2	○			○		○		
○			簿記	基本的な商業簿記を修得します。	1	60	4	○			○		○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			簿記演習Ⅰ	基本的な商業簿記を修得します。簿記検定3級の取得を目指します。	1	90	3	○			○				
○			簿記演習Ⅱ	高度な商業簿記、工業簿記を修得します。簿記検定2級の取得を目指します。	2	90	3	○			○				
○			経営数学	経営に関する問題を理解し定式化することのできる基礎力と解析力をつけることがねらいです。	1	60	4	○			○				
○			日本国憲法	日本国憲法について学習します。様々な問題を一緒に考えていきます。	2	30	2	○			○				○
○			法学概論	民法、会社法、労働法、刑法、憲法などの法律科目の入門編となるとともに、それらの法律の概要を理解することを目標とします。	1	30	2	○			○				○
○			民法・商法	民法・商法、主に会社法の学習をします。契約、物権、債券、不法行為、親族、相続、会社の設立、機関、取締役の役割、ガバナンスの仕組みをそれぞれ学習します。	3	30	2	○			○				○
○			社会学	社会学の基本的なテーマや視点を学びながら、現代がかかえる社会的問題を検討し、文化についての理解力と問題発見力・解決力を養います。	1	60	4	○			○				○
○			会社法	会社、主として株式会社の仕組みを定めた会社法を学習します。	2	30	2	○			○				○
○			経営情報技術	情報を踏まえて経営戦略、情報が係るマネジメント、情報セキュリティを含む基本的な情報技術の概要を理解できるようになることを目標とします。	2	30	2	○			○				○
○			経営管理論	現代の社会をよりよく生きるために、経営管理はどのように役に立つのか、身に付けておくべき基礎的な人間力の知識を得ることを目標とします。	3	30	2	○			○				○
○			監査論	監査が発達してきたこれまでの道筋を概観したうえで改めて監査の意味・意義を吟味し、そのような視点を維持しながら現今の監査制度の具体的内容について理解します。	3	30	2	○			○				○
○			企業と広報	広報コミュニケーションの基礎を理解し、自らの言葉で説明できるようになることを目指します。	2	30	2	○			○				○
○			企業とOJT	人材育成の知識と理論に基づいて、人材育成の具体的な方法を説明できるようになることを目指します。	3	60	4	○			○				○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			企業コンサルティング	企業の直面する経営課題を分析・解決し、組織の業績を改善、向上させていく方策について学びながら、企業コンサルティング能力を養うことを目的とし、基礎的なコンサルティングができるようになることを目指します。	3	30	2	○			○		○		
○			企業と情報法制	情報に関わる現行制度や政策の基礎知識を得て、それらを現実に活用していく能力を得ることが目標です。	3	30	2	○			○		○		
○			マーケティング	マーケティング理論の基礎を理解し、企業のマーケティング行動がどのような意図で行われているのか見極める目を養うことを目標とします。	1	30	2	○			○		○		
○			人材開発	企業の経営資源のうち「ヒト」に関して、基本となる知識と理論を学ぶことを目的とします。人材開発の知識と理論に基づいて、現実の企業における人材の活用方法を適切に理解して説明できることを目指します。	3	60	4	○			○		○		
○			統計学	統計学の基本的な概念や考え方に触れ、実際の場面で応用できるようになることが目標です。	2	30	2	○			○		○		
○			企画概論	企画演習を実施するための基礎的な知識を身に付けます。	1	30	2	○			○		○		
○			企画演習Ⅰ	地域課題に対する新たな解決方法を企画として提案する演習を実施します。	1	30	1		○		○		○		○
○			企画演習Ⅱ	企画演習Ⅰで実施した内容を基にして、ビジネスプランコンテストへチャレンジできる企画を提案します。	2	90	3		○		○		○		
○			企画演習Ⅲ	企画演習Ⅱで実施した内容を改良し、ビジネスプランコンテストへチャレンジできる企画を提案します。	3	90	3		○		○		○		
○			社会調査	卒業研究を始める前に、自身の地域をよく知り課題を明確にするための社会調査を実施します。	4	90	3		○		○		○		
○			経営企画演習	卒業研究に着手する前に社会調査で得た内容を基に、経営企画を立案し発表します。	4	90	3		○		○		○		
○			データベース	データの量や質が多様化、複雑化、大規模化しているため、このようなデータを蓄積、管理し、効率的に利用するための基本概念を学習します。	2	30	2	○			○		○		
○			マルチメディア	様々なコンテンツを扱うマルチメディアは、コンピュータやスマートフォンの普及により身近な存在になっている。これらの本質を理解することを目標とします。	3	30	2	○			○		○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			マルチメディア演習	自治体や企業と連携し地域活性化を図るための画像・映像コンテンツ制作を目指す。基礎的な画像・映像編集技術を学び、制作したコンテンツの発信を行います。	3	30	1		○		○				
○			ビジネスIT技術	激しく変化しているOA機器の全体像を把握し、業務の自動化に向けて、課題・問題を発見する。本講義では、経営・業務のワークフローにおけるOA機器の役割と働きについて理解を深めることを目標とします。	1	30	2	○			○		○		
○			ハードウェア基礎	コンピュータの動作原理を理解し、情報処理に活用する基礎技術を身に付ける。基礎理論として、離散数学・応用数学の基礎を身に付けます。	2	60	4	○			○		○		
○			コンピュータネットワーク論	インターネットの基本となるコンピュータネットワークの基本的用語を説明でき、IPアドレス計算を含む、簡単なネットワーク構成図を読むことを目指します。	2	30	2	○			○		○		
○			情報システム	社会で活用されている情報システムについて技術面、導入効果など関連する論点を学びます。	2	30	2	○			○			○	
○			情報社会と倫理	情報倫理の基本を学習し、倫理という側面から情報社会についての認識を深めることがねらいである。基本的な情報倫理を身に付け、社会の責任ある一員としてインターネットを発展育成させる能力を持つことを目標とします。	1	30	2	○			○			○	
○			情報社会と職業	経済・経営環境の大きな変化を踏まえ、情報社会における職業の在り方とキャリア形成、仕事の取り組み方、企業における教育と人材育成について学びます。	2	60	4	○			○			○	
○			情報と施策	多様化が進むメディアの現状と課題について、歴史的、国際的な視点も交えて学ぶことでジャーナリズムが果たす社会的な役割を理解し、ニュースを批判的に読むことで情報の真偽を見極めることができるようになります。	2	30	2	○			○			○	
○			メディアの活用	現代は情報化社会と言われており、様々なメディアが氾濫しています。それらに振り回されずに主体的・能動的に関わっていくための手がかりをつかむことを目標とします。	3	30	2	○			○			○	
○			社会保障	社会保障の基本構造を理解できるようになる。現在の社会保障制度の問題点を知ることで、社会保証に関する正しい知識を説明できるようになります。	3	30	2	○			○			○	
○			情報科学論	社会生活において、PC等の情報機器を有効かつ安全に活用していく上で必要なコンピュータとネットワークに関する基礎知識を身に付けることを目標とします。	1	60	4	○			○			○	
○			システム監査	システム監査の実施手順についての各項目と内容と目的を理解できるようになることを目指します。	3	30	2	○			○			○	
○			資格試験対策 I	ITパスポートの取得を目指します。	2	90	3	○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			資格試験対策Ⅱ	情報セキュリティマネジメント、データサイエンティスト検定の取得を目指します。	4	90	3		○		○				
○			F P 対策	ファイナンシャル・プランニング 3 級の取得を目指します。	3	90	3		○		○				
○			デジタルマーケティング	情報化社会となっている現在においてデジタルデータを用いたマーケティング手法を学びます。	4	60	4	○			○				
○			マーケティングリサーチ	企業の抱えている課題に対して、経営判断を助けるための調査や分析の基礎を学びます。	4	60	4	○			○				
○			消費者行動論	個人、グループ、組織、および商品やサービスの購入、使用、処分に関する行動を学び、マーケティングの一分野として体験します。	4	60	4	○			○				
○			卒業研究	4 年間学んだ知識・技術を総動員し、新規の制作物についての計画・設計・制作を行い、成果を発表します。	4	240	8		○		○				
合計				8 3 科目	4, 0 8 0 単位時間 (2 1 5 単位)										